

2018年度事業報告書

1. はじめに

2018年度は、大阪北部地震、北海道胆振東部地震、西日本豪雨、台風直撃等、日本列島の各地で自然災害が相次ぎ、住民の生活やインフラ、交通機関にも大きな被害を出した。そのような中、鉄道各社は、基本である「安全・安定輸送の確保」を最優先としつつ、災害からの復旧や災害多発傾向への対策を進めるとともに、お客様サービスの充実・高度化や、業務の効率化、低コスト化、省エネルギー化、自動運転やICT/IoT/AI等新技術の適用等、将来へ向けた課題にも積極的に取り組んできた。

当協会は、総合的鉄道技術者集団として、変革期にある鉄道事業者が必要とする幅広い分野での知見を、会員である鉄道技術者が相互に共有し活用できる諸活動を強化するとともに、将来にわたり総合的鉄道技術者集団としての役割を持続的に果たしうる基盤整備を実施、当面の課題を明確にして諸課題への取り組みを開始した。

具体的には、JREA 誌での関係者の尽力による創立 70 周年記念事業論文掲載の完遂、若手技術者向け基礎講座シリーズ記事連載開始、講演会・見学会の充実等を実施したほか、会員各位のご理解の下 2019 年 4 月 1 日からの会費改定を決定、また有識者参加による企画検討会で 2018 年度までにいただいた提言等を元に「2018 年度下期以降の協会活動に関する件」として当面取り組む諸課題を理事会で決定し、逐次取り組みを開始した。

2019 年度は、2018 年度に決定した当面の課題を着実に実施し、また諸活動を充実し、総合的鉄道技術者集団としての協会活動の一層の強化に取り組む。

2. 会務の概要

(1) JREA 活動の活性化

有識者参加による企画検討会で 2018 年度までにいただいた提言等を元に、2018 年度下期以降取り組む当面の課題をまとめ、理事会で決定した。2018 年度下期以降取り組みを開始し、逐次具体的に実施していく。

・2018 年度に実施した事項

- ① 賛助会員名を JREA 誌、ホームページに掲載
- ② 支部活動支援に向けた講演会録画 (DVD) の提供、支部交付金使途拡大
- ③ JREA 誌過去記事データベースの対象拡大等、ホームページの充実
- ④ 正会員加入活動の強化を目的とした協力幹事等への正会員現況表のメール送付

・2019 年度に実施する事項

- ⑤ 写真、図表等の技術情報を見やすくするための JREA 誌の全面カラー化
- ⑥ JREA 誌 70 周年記念復刻記事特集記事の単行本発行

・2019 年度以降逐次実施していく事項

- ⑦ 亀戸会議室活用等による技術懇話会 (仮称)
- ⑧ 新規自主調査検討会 (今後の受託研究の受注状況により検討)
- ⑨ JREA 誌、JRE 誌への企画記事広告掲載
- ⑩ 学生会員新設検討、正会員加入活動の強化

- (2) JREA誌や講演会などを通じ、基本技術や各分野の最新技術および国内外の諸案件の実例などの技術情報を提供し、会員各位の総合技術力向上への寄与に努めた。新企画としてJREA誌での鉄道基礎技術の新シリーズ記事掲載を開始したほか、ICT/IoT/AI活用など新技術の展開をテーマとした論文掲載、講演会や見学会の充実に努めた。
- (3) 正会員数は、2009年9月末の5,454名をピークに減少、2015年度末には5,450名まで一旦回復したものの、2018年度末では4,937名に減少した。賛助会員は、1997年度末の546団体、1,901口のピークから2014年度末には386団体、1,414口まで減少したが、新規加入や加入口数拡大の活動により、2018年度末では419団体、1,862口に回復した。今後は正会員数の拡大に取り組むとともに、賛助会員の口数増加を継続して推進する。
- (4) 技術情報誌については、JREA 誌（月刊）、Japanese Railway Engineering（以下、「JRE 誌」。英文誌、季刊）、会誌サイバネティクス（季刊）を計画通りに発行するとともに、JREA 誌への基礎講座新シリーズ掲載等内容の充実と、紙質改定等のコストダウンに取り組んだ。
- (5) 自主調査研究である総合安全調査研究会は、2017年度以降を「その4」として、安全対策の各社の施策やレベルを網羅的に調査・整理し、各社の今後の安全施策検討に資する資料としてまとめることを当面の目標に、委員会を5回開催した。
調査研究受託については、「北陸新幹線、金沢～敦賀間雪害対策に関する技術検討2」は竣功した。「北海道新幹線、新函館北斗～札幌間冬季対策に関する技術検討」は延伸され2019年度に竣功予定である。
- (6) 講演会については、特別講演会1回、高速鉄道講演会1回、技術講演会2回、外国鉄道技術研究会講話会4回をそれぞれ開催し、延べ991名の参加を得た。見学会は、日本信号株式会社久喜事業所、西武鉄道株式会社新型特急車両試乗の2箇所を実施した。
- (7) 海外鉄道技術交流調査団については、「欧州の高速鉄道プロジェクトおよび自動運転の発展に関する実態調査とInnoTrans2018の視察」を行い、報告書の発行と外国鉄道技術研究会講話会での報告を行った。
- (8) 2017年度から継続して創立70周年記念事業を実施し、JREA 誌へ70周年記念特集シリーズ論文の掲載などを実施した。
- (9) 特定部会日本鉄道サイバネティクス協議会は、シンポジウム、調査研究、出改札システムおよび会誌編集の4つの委員会を中心として諸活動を実施した。
- (10) 正味財産増減は、経常収益156,283千円、経常費用150,194千円で、当期経常増減は6,088千円の増加となった。
サイバネを除くJREA 単独では、会費収入は、賛助会員数および口数増加により対前年度で119千円の増加となったが、対予算では正会員収入は△432千円、賛助会員収入は+190千円であった。調査研究受託収入は、対前年度535千円の増加となったが、北海道新幹線関係の委員会開催が次年度に繰り延べとなったため対予算では△4,495千円となった。以上の結果JREA 単独で

の経常収益計は 83,690 千円となり、対前年度では 1,062 千円の増加であったが、対予算では△4,869 千円となった。

JREA 単独の経常費用は、対前年度 1,571 千円減少、対予算△4,144 千円の 85,655 千円となり、JREA 単独の当期正味財産の経常増減は 1,964 千円の減少となった（対前年度+2,633 千円、対予算△724 千円）。

なお、会員各位のご理解の下 2019 年 4 月 1 日から正会員および賛助会員の会費を改定することを決定し、2018 年度定時社員総会において報告した。

3. 役員の状況

理事（定数30名以上35名以内） 期末現在 34 名
 監事（定数3名以内） 期末現在 3 名

4. 会議等の開催（本部関係）

定時社員総会 2018年 6月 1日 學士會館 出席者：78名、委任状3,006名
 会務・会計監査 2018年 5月 7日 協会会議室 出席者：監事3名
 定例理事会
 第1回 2018年 5月17日 弘済会館 出席者：理事22名、監事2名
 第2回 2018年 6月 1日 學士會館 出席者：理事22名、監事3名
 第3回 2018年10月19日 弘済会館 出席者：理事20名、監事2名
 第4回 2019年 3月15日 弘済会館 出席者：理事20名、監事2名
 みなし理事会決議
 第1回 2018年 6月15日（電子メール） 出席者：理事34名、監事3名
 第2回 2018年 8月 3日（電子メール） 出席者：理事34名、監事3名
 運営懇談会
 第1回 2018年10月 5日 弘済会館 出席者：理事9名
 第2回 2019年 3月 1日 弘済会館 出席者：理事9名
 支部長会議 2018年11月22日 協会会議室 出席者：支部長6名
 協力幹事会 2018年12月 7日 弘済会館 出席者：協力幹事40名

5. 会員数と会費収入の状況

会員種別	単位	2016 年度	2017 年度	2018 年度	対前年度増減
(1) 正会員 会費収入	名	5,277	5,100	4,937	△163
	千円	31,208	29,093	29,057	△36
(2) 賛助会員 会費収入	団体	404	408	419	11
	口数	1,637	1,856	1,862	6
(3) 特定部会会員 会費収入	千円	32,855	37,165	37,320	155
	団体	207	206	208	2
	千円	59,030	61,900	62,380	480

(注) 上表の数値は各年度 3 月末現在。入会金含む、千円未満は切り捨て。

6. 事業活動

(1) JREA 本体の実施事項

① JREA 活動の活性化

有識者参加による企画検討会で 2018 年度までにいただいた提言等を元に、2018 年度下期以降取り組む当面の課題をまとめ、理事会で決定した。2018 年度下期以降取り組みを開始し、逐次具体的に実施していく。

【2018 年度実施】

1) 賛助会員名の提出

JREA 誌 2019 年 3 月号及びホームページ（会員ページ内）に、掲出に同意されなかった団体を除く賛助会員名を掲載した。

2) 支部活動支援等

支部交付金の使途として、必要により事務経費を計上することを承認するとともに、本部主催の各種講演会の講演録画（DVD）を作成、希望する支部に提供することを開始した。

3) ホームページの充実

JREA 誌過去記事データベース掲載対象記事を拡大（発行後 2 年→1 年）した。

4) 正会員加入活動の強化

毎月、正会員現況表を各理事、各支部長、各協力幹事にメールにて送信し、組織的な正会員加入活動に活用していただく。

【2019 年度実施】

1) JREA 誌の全面カラー化等（2019 年 4 月号から予定）

論文中の写真、図表を見やすくするため、JREA 誌の全面カラー化を実施する。

2) JREA 誌 70 周年記念復刻記事特集記事の単行本発行（2019 年 7 月発行を予定）

【2019 年度以降逐次実施していく項目】

1) 技術懇話会（亀戸会議室利用）

経費をかけずに会員の相互研鑽、交流の場の拡大を目指す。事務局施設、事務局要員等の固定費部分の範囲内で、正会員、賛助会員の講師等でのボランティア的協力による実施を検討。

2) 新規自主調査検討会

今後の受託研究の受注状況等を踏まえ、案件を選定し実施する。

案件毎に理事等を主査に指定し、具体的内容は会長、主査、事務局に一任し会員の希望者を委員として編成する。

3) JREA 誌、JRE 誌への企画記事広告掲載

原則として賛助会員に限定して募集する。

4) 学生会員新設

法人法上の権利義務を有する構成員とは別に、一定の会費を負担することで協会資源を限定的に利用できる准会員の位置付けも検討する。

② 技術情報誌の発行

ア JREA 誌の発行

JREA 誌（月刊、7,000 部／月）を発行し、毎月の編集委員会（委員長：深沢成年 鉄道・運輸機構審議役）にて検討の上、月別の特集テーマを中心に、幅広い分野から、総合的・複合的論文、各専門分野の論文などを掲載したほか、ICT/IoT/AI 活用等新技術の応用、地方鉄道の紹介、各分野の技術動向、提言なども積極的に掲載した。

誌面内容では、各月の特集テーマに従い、鉄道車両の車内騒音低減のための吊り床構造の開発、H100 形電気式気動車（DECMO）の開発、ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規

制方法の開発と導入、「スマート EX」サービスの導入、東海道・山陽新幹線コムトラックの取り替え、鉄道総研における燃料電池車両の開発状況および海外の状況、線路設備モニタリング装置を活用した軌道変位管理に関する研究、ステンレス車両「sustina」のデザイン戦略、アイトラッキングシステムを活用した車掌の視線移動に関する映像教育、我が国鉄道システムの海外展開、都営浅草線 5500 形車両の概要、ミャンマー国における車両メンテナンス体制強化・技術力向上に向けた技術協力、サービスロボットの駅における活用などの記事を掲載し、最新情報についてわかりやすい誌面構成に努めた。

なお、2017年8月号から開始した JREA 創立 70 周年の特別連載は、2018年8月号で掲載を終了した。

また、特別連載記事として9月号から「基礎鉄道技術の変遷シリーズ」の掲載を開始した。

○ 2018 年度 JREA 誌 特集テーマ

月号	特集テーマ	月号	特集テーマ
4	お客さまサービス・事業開発	10	メンテナンス
5	車両技術	11	デザイン・人間工学
6	安全・防災	12	施設・電気設備
7	交通ネットワーク	1	これからの鉄道
8	信号・運行管理	2	海外の鉄道
9	環境・省エネルギー	3	ICT・情報化技術

イ JRE誌の発行

JRE 誌（季刊、1,000 部／回）を発行し、3ヶ月毎に編集委員会（委員長：土屋隆司 鉄道総研国際業務部長）にて検討の上、日本の特徴的・先進的な鉄道技術に関する論文を掲載し、海外への日本の総合的な鉄道技術情報の発信に努めた。海外関係機関および希望する賛助会員に配布している。

③ 調査研究活動

ア 自主調査研究「総合安全調査研究会」「その4」（座長：中村英夫 日大名誉教授）

2006 年度に開始した総合安全調査研究会は満 12 年を迎えた。「その 1」「その 2」では個別テーマの調査研究を行い報告書をまとめ、「その 3」ではミニ講演会を中心に自由討議を行った。

2017 年度からは「その 4」として、安全対策の各社の施策やレベルを相互に調査し、自社の施策の見直しに活用するとともに、今後検討すべき事項などを摘出し、あわせて外部への効果的な PR を検討することとした。課題は「安全取り組み施策評価指標（案）」とし、2018 年度も継続し委員会を 5 回開催し、参加人員は延べ 118 名であった。

○ 第42回委員会（2018年5月22日）

- ① 安全取組施策・評価指標の比較分析について
- ② 今後の作業について

○ 第43回委員会（2018年7月26日）

- ① 安全施策シート（その2）調査結果について
- ② 今後の進め方

○ 第44回委員会（2018年9月18日）

- ① 今後の進め方と整理事項について

- ② 安全施策ワーキンググループの決定・計画について（案）
- ③ 安全施策シート分析について
- 第45回委員会（2018年12月5日）
 - ① ワーキンググループ資料報告（安全施策の分類とまとめ）（中間報告）
 - ② 安全施策分類の総括的まとめ方について
- 第46回委員会（2019年3月6日）
 - ① 安全施策項目の「取りまとめの案」について
 - ② 安全施策項目の解説（分類表）について

イ 調査研究受託

鉄道・運輸機構 大阪支社より「北陸新幹線、金沢～敦賀間雪害対策に関する技術検討2」を継続受託し、北陸新幹線、金沢～敦賀雪害対策委員会報告書を作成し2019年2月末に竣功した。

また、鉄道・運輸機構 北海道新幹線建設局より受託した「北海道新幹線、新函館北斗～札幌間冬季対策に関する技術検討」は、次年度に繰り延べされ2019年9月竣功の見込みである。

④ 講演会の開催

- 特別講演会（2018年6月1日） 参加者 158 名
 演題：「次世代の公共交通システムードライバレス自動運転実用化への挑戦ー」
 講師：古関 隆章 氏 東京大学 大学院 工学系研究科 電気系工学専攻教授

- 高速鉄道講演会 参加者 119 名
 - ・第54回（2019年1月16日）
 演題：「次世代新幹線の実現に向けて
 ～これまでの研究開発と新幹線高速試験電車「ALFA-X」の製作～」
 講師：浅野 浩二 氏
 東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 先端鉄道システム開発センター 所長

- 外国鉄道技術研究会講話会 参加者 161 名
 - ・第121回（2018年4月26日）
 演題：「株式会社日立製作所 海外鉄道事業の概況と市場動向の考察」
 講師：光富 眞哉 氏 株式会社日立製作所 執行役常務
 鉄道ビジネスユニット マネージングダイレクタ（日本・アジアパシフィック）
 兼 グループヘッドオブセールス
 - ・第122回（2018年12月20日） 参加者 140 名
 演題：「ジャカルタMRT開業準備中」
 講師：宇都宮真理子 氏 日本コンサルタンツ株式会社 技術本部副部長
 - ・第123回（2019年2月13日） 参加者 132 名
 演題：「ミャンマーの発展と鉄道技術支援」
 講師：田辺 均 氏 日本コンサルタンツ株式会社 執行役員 技術本部副本部長
 - ・第124回（2019年3月4日） 参加者 82 名
 演題：「2018年度JREA海外鉄道技術交流調査団報告」
 講師：坂本 龍治 氏 東日本旅客鉄道株式会社 国際事業本部 顧問

白石 俊介 氏 三菱電機株式会社 交通事業部計画部 担当部長
早川 晴彦 氏 第一建設工業株式会社 経営企画部 部長
大野 龍二 氏 株式会社新陽社 情報システム部 担当部長
川畑 貴裕 氏 株式会社JR西日本テクシア 技術本部 保全管理部 部長
小田島裕之 氏 JR東日本メカトロニクス株式会社 仙台支店 出改札部 担当部長
堀口 隆夫 氏 株式会社メトロライフサポート 取締役

○ 技術講演会

- ・第28回（2018年7月18日） 参加者 84 名
演題：「車両の設計・開発における技術者の苦勞とやりがい」
講師：菊地 隆寛 氏 東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部運輸車両部 車両技術センター 所長
- ・第29回（2018年9月12日） 参加者 115 名
演題：「地震被害の復旧と今後の地震対策」
講師：石橋 忠良 氏 JR東日本コンサルタンツ株式会社 技術統括
東日本旅客鉄道株式会社 構造技術センター 顧問

（注）上記講師の所属・役職は、講演会当時のもの。

⑤ 見学会の開催

2018年度は、事業所1箇所、車両試乗会1箇所の見学会を実施した。

- 「日本信号株式会社久喜事業所 見学会」（2018年12月6日） 参加者 17 名
信号技術の変遷をテーマに久喜事業所内の展示室、安全信頼創造センター等を見学
- 「西武鉄道株式会社新型特急車両001系「laview」試乗会」（2019年2月26日）
参加者 30 名

⑥ 海外鉄道技術交流調査団の派遣

本年は、ベルリンで隔年開催の InnoTrans2018 の視察、欧州における高速鉄道プロジェクト計画によるル・マン～レンヌ新線試乗と周辺地下鉄視察、イタリアの高速鉄道の状況調査、自動運転についての継続調査のため、ドイツ、イタリア、フランスの3か国にて調査等を実施した。また、東日本旅客鉄道株式会社パリ事務所を訪問し、ヨーロッパの最新の鉄道事情等について講義を受けた。

テーマ：「欧州の高速鉄道プロジェクトおよび自動運転の

発展に関する実態調査と InnoTrans2018 の視察」

日 程：2018年9月17日～9月26日（10日間）

団 長：坂本 龍治 氏 東日本旅客鉄道株式会社 国際事業本部 顧問

参加者：24名

報告書を発行し、第124回外国鉄道技術研究会講話会において報告を行った。

⑦ 支部活動

ア 本部と支部の連携

- 支部長会議（1回）、協力幹事会（1回）を開催した。
- ホームページ、JREA誌などを活用し、支部の講演会・見学会などの開催案内ならびに活動状況報告その他を掲載している。
- 支部と本部の連携をとり、会員の入退会情報の共有や会員拡大活動の促進に努めている。

イ 各支部の活動

北海道支部

- 第1回理事会（2018年7月26日）
- 支部総会（2018年11月29日） 参加者 51名
- 特別講演会（2018年11月29日） 参加者 51名
演題：「列車運行制御における情報ネットワークの活用と情報セキュリティ」
講師：中村 一城氏 公益財団法人鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部 ネットワーク・通信室長
- 共催講演会（2019年3月6日） 参加者 171名
演題：「交通安全環境研究所における鉄道の安全性向上に関する取組」
「日本における鉄道製品認証と鉄道認証室の活動について」
講師：竹内 俊裕氏 交通安全環境研究所 交通システム研究部 主席研究員
森 裕貴氏 交通安全環境研究所 鉄道認証室・交通システム研究部（併任）研究員
共催：一般社団法人日本鉄道運転協会 北海道支部
一般社団法人日本鉄道車両機械技術協会 北海道支部
一般社団法人日本鉄道施設協会 北海道支部
一般社団法人日本鉄道電気技術協会 北海道支部
一般社団法人日本建設業連合会 北海道支部
一般社団法人鉄道建築協会 北海道支部

東北支部

- 第1回理事会（2018年7月11日）
- 支部総会（2018年9月13日） 参加者 41名
- 講演会（2018年9月13日） 参加者 56名
演題：「鉄道車両の振動乗り心地の評価と向上について」
講師：富岡 隆弘氏 秋田県立大学 システム科学技術学部 機械工学科 教授
- 見学会（2019年1月16日） 参加者 25名
福島第一原子力発電所 廃炉作業の見学

中部支部

- 第1回理事会（2018年6月1日）
- 第2回理事会（2018年8月22日）
- 支部総会（2018年8月22日） 参加者 44名、委任状 664名
- 第1回講演会（2018年8月22日） 参加者 81名
演題：「世界に誇れる日本の技術 一宇宙開発一」
講師：上森 規光氏 国立研究開発法人 宇宙航空研究開発機構 有人宇宙技術部門 事業推進部長
- 見学会（2018年12月6日） 参加者 17名
近畿日本鉄道株式会社富吉車庫 50000系電車「しまかぜ」の見学
- 第2回講演会（2019年3月25日） 参加者 75名
演題：「先端技術を活用した道路構造物の維持管理と鉄道への適用」
講師：土橋 浩氏 首都高速道路株式会社 執行役員

関西支部

- 会員勧誘意見交換会（2018年5月10日） 参加者 9名
- 第1回見学会（2018年5月16日） 参加者 20名
 - ① 川崎重工業株式会社 兵庫工場 車両カンパニー 鉄道車両製作現場などの見学
 - ② 株式会社ダイヘン 六甲事業所 ロボット技術などの見学
- 第37回理事会（2018年5月22日）
- 支部総会（2018年7月5日） 参加者 156名
- 記念講演会（2018年7月5日） 参加者 156名
演題：「関西民鉄アラカルト ー鉄道車両の音・色の世界と京阪電気鉄道60型びわこ号ー」
講師：中山 嘉彦氏 大阪学院大学経済学部 教授 産業考古学会 理事
近畿産業考古学会 副会長 鉄道友の会 阪神支部 副支部長
- 第2回見学会（2018年11月21日） 参加者 31名
阪急電鉄株式会社 阪急電鉄京都線・千里線淡路駅付近立体交差事業現場の見学
西日本旅客鉄道株式会社 おおさか東線北区间 JR淡路駅新設工事現場の見学
- 定期講演会（2019年1月31日） 参加者 192名
演題：「オープンイノベーションを活用した技術による変革」
講師：小川 紘一氏 東京大学 政策ビジョン研究センター シニア・リサーチャー
松本 毅氏 ナインシグマ・アジアパシフィック株式会社 ヴァイスプレジデント
野々村一志氏 西日本旅客鉄道株式会社 鉄道本部技術企画部 オープンイノベーション室長
- 会員勧誘意見交換会（2019年2月21日） 参加者 7名

四国支部

- 第1回理事会（2018年7月30日）
- 定期総会（2018年8月31日） 参加者 47名
- 第1回講演会（2018年8月31日） 参加者 62名
演題：「新幹線で四国を変えよう！ 新幹線を活かした四国の地域づくりビジョン調査」
講師：石原 俊輔氏 四国経済連合会 専務理事（四国新幹線整備促進期成会 事務局）
- 第2回講演会（2019年1月21日） 参加者 144名
演題：「2000系DCの開発」
講師：松田 清宏氏 四国旅客鉄道株式会社 相談役

九州支部

- 第1回理事会（2018年7月20日）
- 第2回理事会（2018年9月3日）
- 支部総会（2018年9月3日） 参加者 134名
- 講演会（2018年9月3日） 参加者 134名
演題：「幕末維新の薩摩 ～なぜ薩摩は近代化・維新の中心となったのか～」
講師：島津 忠裕氏 株式会社島津興業 代表取締役社長
- 第3回理事会（2018年9月3日）
- 見学会（2019年2月15日） 参加者 23名
西日本旅客鉄道株式会社 新幹線鉄道事業本部 博多総合車両所

および500系「ハローキティ新幹線」の見学

⑧ 功績賞等表彰

○ 感謝状贈呈（2018年度表彰式における追加贈呈）

長きにわたり日本鉄道技術協会坂田記念賞選考委員長をお務めいただいたことに対する感謝状贈呈が臨時表彰委員会（2018年5月7日）および第1回理事会（2018年5月17日）において決定した。表彰は2018年度定時社員総会（2018年6月1日）終了後の2018年度表彰式にて行った。

曾根 悟 氏 工学院大学特任教授

○ 2018年度表彰（2019年度表彰式にて表彰予定）

協会の運営発展に多大な貢献のあった会員などを表彰委員会（委員長：渡辺郁夫 鉄道総研専務理事、2019年2月20日開催）にて選考し、第4回理事会（2019年3月15日）において以下のとおり決定した。表彰式は2019年度定時社員総会終了後に行う。

ア 特別功績賞（1名） 基準：協会活動への貢献通算15年以上

庄司 孝雄 氏 前 一般社団法人日本鉄道技術協会 専務理事

イ 功績賞（1名） 基準：協会活動への貢献通算8年以上

東濱 忠良 氏 元 東京地下鉄株式会社 専務取締役

ウ 著作賞 基準：旧JREA賞および日本鉄道技術協会坂田記念賞を複数回受賞

該当者なし

エ 感謝状（協力幹事）（3名：50音順） 基準：正会員増加など、協会の発展に貢献

須賀 利昭 氏 大同信号株式会社

福井賢一郎 氏 阪急電鉄株式会社

渡部 博人 氏 東海旅客鉄道株式会社

オ 永年会員賞

連続して在席した年数が30年に達した正会員に対し、長期にわたり鉄道技術の向上に貢献されていることを表敬し、「永年会員賞」表彰を実施する。創立記念日の日付で、郵送にて表彰状とともに講演会参加優待のJREA優待証を贈呈する。（対象者 55名）

⑨ 日本鉄道技術協会坂田記念賞

2018年1月から12月までの間に発行されたJREA誌、JRE誌、会誌サイバネティクス、鉄道サイバネ・シンポジウム論文集に掲載された論文の中から、各委員会より推薦された論文を対象に、日本鉄道技術協会坂田記念賞選考委員会（委員長：水間毅 東京大学大学院新領域創成科学研究科特任教授、2019年3月7日開催）にて選考し、第4回理事会（2019年3月15日）において、以下のとおり決定した。表彰式は2019年度定時社員総会終了後に行う。

○ 最優秀賞

『ドップラーレーダーを用いた突風に対する列車運転規制方法の開発と導入』

(JREA 2018年6月号)

鈴木 博人 氏 東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 防災研究所 所長
藤原 忠誠 氏 東日本旅客鉄道株式会社 JR東日本研究開発センター 防災研究所 研究員
櫃間 智紀 氏 東日本旅客鉄道株式会社 鉄道事業本部安全企画部 副課長
楠 研一 氏 気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部 室長
猪上 華子 氏 気象庁 気象研究所 気象衛星・観測システム研究部 研究官

○ 優秀賞

『深層学習を適用したトンネル覆工面ひび割れ検出』 (JREA 2018年3月号)

鵜飼 正人 氏 公益財団法人鉄道総合技術研究所 信号・情報技術研究部 画像・IT研究室長

『在来線運転士用タブレット端末 (CAST) の導入

ータブレット端末を活用した乗務員への情報伝達手段の構築ー』

(サイバネティクス 2018 Vol.23 No.3)

坂下 修 氏 東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 運輸営業部運用課 課長

長谷 忠士 氏 東海旅客鉄道株式会社 東海鉄道事業本部 運輸営業部運用課 課長代理

『駅視ーvisionの技術を応用した新たな情報配信サービスーホーム上の混雑状況可視化ー』

(サイバネティクス 2018 Vol.23 No.4)

青戸 大介 氏 東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 電気部計画課 主事

芝 佑平 氏 東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 電気部計画課 技術員

井上 敬介 氏 東京急行電鉄株式会社 鉄道事業本部 電気部計画課 事務員

石村智恵子 氏 株式会社日立製作所 社会システム事業部 交通第三システム部 第2課 技師

西浦 翔平 氏 株式会社日立製作所 社会システム事業部 交通第三システム部 第2課

『予測時間の精度を高めた踏切定時間制御装置の開発』

(第55回鉄道サイバネ・シンポジウム論文集)

西嶋 祐俊 氏 小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 電気部 課長代理

町田 雅人 氏 小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 電気部 技術員

下笠 智也 氏 小田急電鉄株式会社 交通サービス事業本部 交通企画部 技術員

豊田 明久 氏 日本信号株式会社 技術開発本部 インフラ機器技術部 課長

砂場 真 氏 日本信号株式会社 営業本部 第二営業部

橋本未知也 氏 日本信号株式会社 技術開発本部 インフラ機器技術部

○ 特別賞

『アイトラッキングシステムを活用した車掌の視線移動に関する映像教育』

(JREA 2018年11月号)

樋口 貴士 氏 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 輸送課 課員

小林 教恵 氏 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 輸送課 主査

後藤 大樹 氏 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 輸送課 課長代理

林 明日香 氏 西日本旅客鉄道株式会社 近畿統括本部 輸送課 課員

(注) 上記受賞者の所属・役職は、論文発表当時のもの。

⑩ 創立70周年記念事業の継続実施

関係者の尽力により、2017年度からの継続としてJREA誌へ70周年記念特集シリーズ論文「JREA誌に見る鉄道技術の変遷」（2017年10月号～2018年8月号）を掲載した。

(2) 特定部会 日本鉄道サイバネティクス協議会の活動

シンポジウム、調査研究、出改札システム、会誌編集の各委員会を4本柱として諸活動を行った。また表彰各賞について、功労賞選考委員会、技術賞選考委員会、シンポジウム委員会、会誌編集委員会で候補を選定し、企画理事会で決定した。

① 定時総会（2018年5月25日） ホテルメトロポリタンエドモント（飯田橋）

出席者：116会員（委任状92会員を含む）／会員総数：206会員

ア 表彰式

技術賞表彰 最優秀賞（1件6名）、優秀賞（3件15名）、特別賞（2件12名）

功労賞表彰 （顕著功績者）特別功労賞（2件4名）

（永年貢献者）特別功労賞（1名）、功労賞（4名）

論文賞表彰 シンポジウム論文部門：優秀賞（4件16名）、優良賞（4件17名）

会誌部門：優秀賞（2件9名）、優良賞（2件7名）

イ 特別講演会

演題：「人工知能AIの現状とインタラクティブシステムの新展開」

講師：山田 誠二 氏 国立情報学研究所 教授

一般社団法人人工知能学会 会長

② 企画理事会（4回開催）

③ 事業運営会議（4回開催）

協議会の次期（2019～2021年度）中期計画の策定に向け、ビジョンの取りまとめと各委員会の計画案の作成のフォローを行った。また、データ利活用準備委員会の発足に向けた調整を行った。

④ シンポジウム委員会

ア シンポジウム委員会（1回：2018年4月20日）

イ 第55回鉄道サイバネ・シンポジウム（2018年11月8、9日）KKRホテル大阪

論文発表 64件（会員論文60件、学生優秀論文4件）

参加者 491名

大学研究室のパネル展示 9件

（茨城大、大阪産業大、近畿大、上智大、千葉工大、東京理科大、日大（3研究室））

特別講演

参加者 216名

演題：「5Gの動向と予想される社会へのインパクト」

講師：三瓶 政一 氏 大阪大学大学院 工学研究科 電気電子情報工学専攻 教授

⑤ 調査研究委員会

ア 調査研究委員会（1回：2018年10月19日）、幹事会（1回）

イ 分科会活動（2017～2019年）

第一分科会「少子高齢化社会における鉄道のあり方と必要な技術に関する調査研究」（6回）

第二分科会「多様な文化を踏まえた旅客サービスと適用する技術に関する調査研究」（6回）

第一分科会、第二分科会とも、2テーマに区分しワーキンググループを構成し、調査研究を進めている。両分科会ともに、2018年度は幹事会及び調査研究委員会で中間報告を行い、2019年度は4月開催の幹事会での中間報告を経て、10月開催される調査研究委員会に併せ、会員向けに「調査研究報告会」を開催し、最終報告を行う。

⑥ 出改札システム委員会

ア 平成29年度出改札システム委員会事業報告会（2018年4月12日） ホテルメトロポリタン（池袋）

出改札システム委員会、規格分科会報告、参加者 328 名

セキュリティ評価認証制度の見直しと新スキームの紹介

調査小分科会活動報告（4小分科会）

イ 講演会（2018年4月13日） エステック情報ビル（新宿） 参加者 240 名

講演：クレジット取引におけるセキュリティ対策について

■演題1:「クレジットカード取引におけるセキュリティ対策の強化に向けた実行計画ー2018ー」

講師：飯田 和徳 氏 一般社団法人日本クレジット協会 セキュリティ対策推進センター センター長

■演題2:「PCIDSS概要について」

講師：上野 洋一 氏 国際マネジメントシステム認証機構株式会社 代表取締役社長

■演題3:「鉄道事業者の現在の取り組み状況の実例紹介」

講師：山口 優 氏 京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業開発課 課長

花井 計 氏 京王電鉄株式会社 鉄道事業本部 事業開発課

ウ 幹事会、分科会等の活動

幹事会（5回）、規格分科会（4回）、旅客駅コード事前調査会（4回）、調査分科会（2回）、セキュリティ啓発ワーキング（6回）、全国出改札システム連絡会（1回）、ICカードWG（3回）、サイバネ用語解説集改版WG（4回）を開催した。

⑦ 会誌編集委員会

会誌編集委員会を5回開催し、会誌サイバネティクスを4回発行した。

(別紙) 事業報告の付属明細書

○ 2018年度事業の実施状況（次ページに掲載）

2018年度事業の実施状況

		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
(A) 協会運営	社員総会・監査	●27監事監査	●7監事監査	●1定時社員総会										
	理事会		●17理事会①	●1理事会② ●15みなし理事会①		●3みなし理事会②		●19理事会③					●15理事会④	
	運営懇談会・支部長会議他		●7表彰委員会(メール)					●5運営懇談会①	●22支部長会議	●7協力幹事会	●28七協会協議会	●20表彰委員会	●1運営懇談会② ●7坂田記念賞選考委員会	
(B) 部長会議		●3部長会議① ●17部長会議②	●9部長会議③ ●23部長会議④	●4部長会議⑤ ●20部長会議⑥	●3部長会議⑦ ●17部長会議⑧	●21部長会議⑨	●5部長会議⑩ ●19部長会議⑪	●2部長会議⑫ ●15部長会議⑬	●6部長会議⑭ ●20部長会議⑮	●4部長会議⑯ ●18部長会議⑰	●8部長会議⑱ ●22部長会議⑲	●5部長会議⑳ ●19部長会議㉑	●5部長会議㉒ ●19部長会議㉓	
(C) 調査・研究	受託(契約・完了)													
	総合安全調査研究会(自主)		●22委員会		●26委員会		●18委員会			●5委員会			●6委員会	
(D) サイバネティクス協議会	サイバネ総会・企画理事会 会長・副会長連絡会議		●11企画理事会① ●25定時総会			●23-24会長・副会長①	●14企画理事会②			●7企画理事会③	●23会長・副会長②		●8企画理事会④	
	事業運営会議	●18①				●28②			●13③			●19④		
	シンポジウム・委員会 ・論文部会	●20委員会				●3論文部会	●7論文部会	●26運営部会	●8-9シンポジウム(大阪)					
	調査研究委員会・ 第一分科会・第二分科会	●4幹事会	●11第一分科会 ●24第二分科会		●27第一分科会 ●20第二分科会	●21第一分科会 ●28第二分科会	●19委員会	●21第一分科会 ●22第二分科会		●23第一分科会 ●25第二分科会			●19第一分科会 ●20第二分科会	
	出改札システム委員会 事業報告会・幹事会	●12幹事会① ●12事業報告会		●11幹事会②	●20全国出改札システム連絡会(大阪)	●25幹事会③				●3幹事会④			●4幹事会⑤	
会誌編集委員会	●6①			●12②			●11-12③	●15④			●10⑤			
(E) 技術情報誌発行	JREA誌(特集テーマ)	●12編集委員会 ●お客さまサービス・ 事業開発	●10編集委員会 ●車両技術	●14編集委員会 ●安全・防災	●12編集委員会 ●交通ネットワーク	●2編集委員会 ●信号・運行管理	●13編集委員会 ●環境・省エネルギー	●4編集委員会 ●メンテナンス	●8編集委員会 ●デザイン・人工工学	●13編集委員会 ●施設・電気設備	●10編集委員会 ●これからの鉄道	●14編集委員会 ●海外の鉄道	●7編集委員会 ●ICT・情報化技術	
	JRE	●NO.200	●29編集委員会①		●NO.201		●5編集委員会②	●NO.202		●4編集委員会③	●NO.203	●27編集委員会④		
	会誌「サイバネティクス」	●NO.89			●NO.90			●NO.91			●NO.92			
(F) 講演会・見学会	特別・高速鉄道・技術			●1特別講演会	●18第28回技術講演会		●12第29回技術講演会				●16第54回高速鉄道			
	外国鉄道技術研究会講話会	●26第121回								●20第122回		●13第123回	●4第124回	
	見学会									●6見学会①		●26見学会②		
(G) 海外調査団		●計画確定	●25募集開始	●31募集締切			●17-26調査団派遣							
(H) 支部	北海道	理事会・総会				●12幹事会 ●26理事会			●29支部総会					
		行事							●29講演会				●6共催講演会	
	東北	理事会・総会	●9会計監査	●16幹事会		●11理事会		●13支部総会						
		行事						●13講演会				●16見学会		
	中部	理事会・総会	●27会計監査	●10幹事会	●1理事会		●22理事会 ●22支部総会	●26幹事会						
		行事					●22講演会				●6見学会			●25講演会
	関西	理事会・総会	●10会計監査	●10幹事会 ●10会員勸奨意見交換		●5支部総会							●21会員勸奨意見交換	
		行事		●16見学会		●5記念講演会				●21見学会		●31定期講演会		
	四国	理事会・総会				●6会計監査 ●30理事会	●31支部総会							
		行事					●31講演会					●21講演会		
	九州	理事会・総会	●18会計監査			●20理事会	●17幹事会	●3理事会 ●3支部総会 ●3理事会						
		行事						●3講演会					●15見学会	